

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グローバルパーパス

生活者、企業、社会。それぞれの内なる想いを解き放ち、時代をひらく力にする。

営業利益成長率
10%以上売上総利益成長率
5%以上営業マージン
13%以上のれん償却前ROE
10%以上

② 中長期の経営戦略

1. マーケティングビジネスの構造変革

デジタルマーケティング領域を強化。2024年4月設立の株式会社Hakuhodo DY ONE、2025年4月の博報堂とメディアパートナーズ統合により統合効果を創出。

2. 統合マーケティングプラットフォーム開...

生活者データプラットフォームとHuman-Centered AI Instituteの研究成果活用で、生活者データ・ドリブンなフルファネルマーケティングの高度化・効率化を実現。

3. 新成長領域への投資

コンサルティング、テクノロジー、コンテンツ、インキュベーション領域に積極投資。2025年4月に株式会社HAKUHODO ITTENIとHAKUHODO BRIDGEが営業開始。

4. グローバルビジネスの強化

戦略事業組織kyuとの連携で"モダンネットワーク"形成。デジタルマーケティングを中心に収益力を強化。"kyu Pulse"で競争力向上。

③ 対処すべき課題

① ビジネス環境の急速な変化への対応

- ・生活者主導社会の到来とサステナビリティの重要性への対応
- ・AI等先端テクノロジーとデジタルインフラ充実への産業構造変化への対応
- ・広告・マーケティングを超えたビジネスモデル変革の必要性

② サステナビリティ経営の推進

- ・2050年度カーボンニュートラル達成。2030年度にスコープ1+2を2019年度比50%削減
- ・2030年度までに管理職の女性比率30%達成
- ・社会課題に対応する人材育成

③ コンプライアンスと信頼回復

- ・東京オリンピック関連業務委託契約の独占禁止法違反事案の継続処理
- ・法令遵守の徹底と再発防止策の実施
- ・コンプライアンス意識のさらなる向上

面接で使えるポイント

- ・グローバルパーパス『生活者、企業、社会の内なる想いを解き放つ』のもと...
- ・2025年4月の博報堂とメディアパートナーズ統合、株式会社HAKUHODO ITTENIなど新会社設立により...
- ・2030年度管理職女性比率30%達成とカーボンニュートラル達成に向けた、サステナビリティ経営を経営の中核に据えた組織変革

証券コード 2433

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

マーケティングサービス企業集団として統合マーケティングソリューションの提供を主た

主力事業・セグメント

・サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・営業利益率97.0%と高い収益性

・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
461億円営業利益率
97.0%財務健康度
26点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 59.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,168万円

サービス業内 13位/524社

平均年齢

42.5歳

サービス業内 120位/527社

平均勤続

13.0年

サービス業内 70位/527社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: ARROVAと株式会社博報堂 D Y ホールディングス、ゲーム内の

